

全国養護教諭教育研究会
第3回研究大会開催案内(第3報)
小林 冽子 千葉大学教育学部

1. 日時: 1995年11月27日(月) 9:30 ~ 16:00
2. 場所: 千葉大学大学院自然科学研究科
大会議室(西千葉キャンパス内)
3. メインテーマ: 養護教諭の力量形成にむけて
4. プログラム
9:00~ 9:30 受付
9:30~ 9:40 開会の言葉
9:40~ 11:40 パネルディスカッション
テーマ「力量形成にむけて—養護実習の目標はどのようにたてられているか」
進行 中桐佐智子(吉備国際大学)
座長 鎌田尚子(女子栄養大学)
パネラー
盛 昭子(弘前大学)
『大学でつけられる力量とは』
小西俊子(大阪市立新庄小学校)
『新卒~3年位までの実践的力量とは』
横 仁子(元小学校校長)
『現場で考える力量とは』
渡部木綿子(茨城大学学生)
『学生の考えは』
11:50~13:00 昼食・休憩
13:00~13:40 総会
13:50~15:50 研究発表
(発表時間 10分)
座長 石田トミ(国学院大学栃木短期大学)

- ① 養護実習のあり方に関する研究
その1..全国養護教諭養成機関における
実習の目的・目標
養護実習研究班
大谷尚子(茨城大学)
 - ② 養護教育実習
—学外養護教育実習との関係—
松浦昭子(瀬戸内短期大学)
座長 小笠原紀代子(筑波大学附属聾学校)
 - ③ 養護実習における保健指導体験と学生の
反応
○石原昌江(岡山大学)
井駒洋子(同附属小学校)
鈴木 薫(同附属幼稚園)
 - ④ 養護教諭養成教育における人間機能学
実習について
○野崎とも子(千葉大学)
磯田啓二郎(同)
 - ⑤ 若年者にみられる外反母趾の発生要因
について —養成教育における研究意義—
○西田マリ(千葉大学卒)
吉田千夏(愛国学園)
磯田啓二郎(千葉大学)
- 15:50~16:00 閉会の言葉
5. 参加費: 会員2000円, 非会員3000円
非会員の参加を歓迎しますので、お近くの方をお誘い下さい。
 6. 研究大会についての問い合わせは大会実行委員長まで。 TEL (043)290-2638
 7. 入会手続きは研究会事務局まで。

第3回研究大会のパネラー決定

今回の研究大会の新しい試みはパネルディスカッションです。過去2回の研究大会の結果を整理しながら、小学校に限定して「力量形成とは」に迫ります。

パネラーを上記の方々がお引受け下さり話題を提供されます。

パネルディスカッションは参加された皆さんでつくられていくものです。是非、多数の方が参加されて活発に討論を致しましょう。場所は千葉大学内の大学院自然科学研究科大会議室に設定してあります。どうぞ、奮って参加され、皆で研究会を盛り上げていただきたいと思っています。よろしくご願ひ申し上げます。

(小林 冽子)

世話人会等の活動

1. 第15回拡大世話人会

日時: 1995年8月11日(金) 13:00~17:30

場所: 筑波大学附属駒場中・高等学校

出席者: 世話人7名, 第3回研究大会実行委員4名(内兼任1名)

内容: 第3回研究大会の企画(パネルディスカッションの進め方), 研究発表申込み状況, 抄録構成方針, 研究大会役割分担, 研究班の活動について, 第4回総会準備, 「ハーモニー」9号発行計画ほか

2. 第16回拡大世話人会開催予定

日時: 1995年10月22日(日) 13:00~17:00

場所: 筑波大学附属駒場中・高等学校

内容: 第3回研究大会の運営と直前の準備について, 第4回総会議案について

(堀内久美子)

「養護実習に関する研究班」の活動報告

盛 昭子 弘前大学教育学部

1. はじめに

全国養護教諭教育研究会の研究活動として、世話人を中心に養護実習に関する研究がなされてきました。その成果は、第1回と第2回の研究大会や「学校保健研究」で報告されたことはご存じの通りです。

この研究会の研究活動の輪を広げて一歩前進させる趣旨で、第3回総会において研究班の設置が提案され、承認されました。併せて同総会で、今年度の研究テーマは、「養護実習における能力の育成」とされました。

これを受けてハーモニー第7号で、会員からの研究希望者が募られ、表題のような新たな研究組織が平成7年度に発足しました。研究員は、これまで養護実習に関する研究を進めてこられた世話人を含む9名です。

この新たに発足した「研究班」の活動経過を以下に簡単にご報告致します。

2. 研究会の開催

茨城大学の太谷先生の音頭で、第1回の研究大会が筑波大学附属駒場高校で開催されたのは、去る7月1日、2日のことでした。研究会では、研究班員の確認と班長の決定、研究主題、研究方針、役割分担、スケジュール等について話し合いました。

次いで、8月10、11日には、第2回の研究大会が同じく駒場高校で開催され、来る11月27日の第3回研究大会での発表演題の確認と発表者の決定、発表内容の検討、今後の研究の役割分担と日程等について話し合いました。

この2回の研究大会での討議とこれまでの活動の主な内容は次の通りです。

3. 研究計画と研究活動の概要

1) 研究主題

養護実習のあり方に関する研究—実習の目的・目標と評価のあり方を中心に—

2) 研究期間

1995年4月～1996年3月（予定）

3) 研究方針と研究経過

① 養護実習の目的・目標の実態分析

1994年に実施した全国養護教諭養成機関対象の調査を基に分析しています。

② 教師養成教育の「教育実習の目的・目標」との共通点と養護実習独自の目的・目標の検討

養護実習は、教師養成の教育実習と同じ位置づけにあり、その目的・目標は共通の基盤をもっているはずとの仮説のもとに資料を集め検討しています。

③ 広義の養護実習の目的・目標の検討

養護実習の目的・目標は、事前指導→臨地実習→事後指導のそれぞれの目標を含む総合的なものであるはずで、

従って、それぞれの目標を明らかにしながら広義の養護実習の目的・目標の検討をしたいと考えています。

④ 養護実習の目的・目標の達成度測定のための評価の検討

広義の養護実習の目的・目標に対する総合的評価と事前指導、臨地実習、事後指導それぞれの段階での評価の目的、評価方法、評価尺度（観点）等についての検討をする予定です。

4) 研究報告の予定

① 第1回報告 1995年11月27日 第3回研究大会での発表

演題： 養護実習のあり方に関する研究
その1 全国養護教諭養成機関における実習の目的・目標

② 第2回報告 1996年 第4回研究大会での発表 演題未定

4. おわりに

このように、養護実習で学生にどのような能力を培ってほしいのか、そのための実習の目的・目標と評価はどうあればよいのか、という観点から研究に取り組んでいます。この研究についてのご助言やご意見をお寄せいただければ幸いです。

ホットニュース

免許法認定公開講座

中柄佐智子 吉備国際大学

吉備国際大学保健科学部看護学科では、8月1日から4日まで、養護教諭の2種から1種に上申するための、免許法認定公開講座を実施しました。午前中に学校保健学1単位、午後に衛生学1単位と合計2単位を講義の形式で実施しました。養護教諭2種を取得している方ならどなたでも先着順で受け付けましたところ、中・四国の方ばかりでなく、和歌山県からも、受講生がありました。

定員40名、誰一人脱落する人もなく、猛暑の中、久しぶりの学生としてリフレッシュされた輝きに満ちた目が講師に集中され、講師のほうに圧倒されそうと感想を漏らすような、活発な充実した時間が過ぎていきました。「もっと多くの単位」を、「冬休みも春休みも開講して」という希望が多かったのですが、看護学科は、今年開学したばかりの新しい学科ですから、まだその余裕はありません。来年の夏休みにも、別の企画で開講を予定していますので、ご希望の方は教務課(0866-22-3517代表)まで申し込んでください。

また、女子栄養大学も、「女子栄養大学免許法認定講習会」を8月に開講しました。一期と二期に分けて以下のように実施しました。

一期：8月2日～10日(同時開講)

学校保健学(養教の職務含) 2単位

情報処理 2単位

二期：8月24日～31日

栄養学(食品学を含) 2単位

来年は、公衆衛生2単位と精神衛生2単位を予定しています。ご希望の方は、女子栄養大学におたずねください。

なお、免許法認定公開講座を実施している大学が他にありましたら、来年の予定などを事務局までお知らせください。

女子栄養大学大学院開設

鎌田尚子 女子栄養大学

女子栄養大学大学院-保健学専攻修士課程
平成7年4月に開設、十名の院生で発足。

【目的】 『修士(保健学)』

保健・医療のコ・メディカルワーカーの資質の向上をはかり、ヘルスプロモーションの推進に貢献する。健康科学、臨床検査学、養護教諭論の領域に関する研究者養成のほか、高度の専門家養成を意図している。すなわち健康教育のほか、地域保健サービスの専門家、臨床検査技師、養護教諭や保健の専修免許取得の専門職等をめざす。(募集人員10名)

【授業科目】 各2単位、担当教員は次の通り

I. 健康科学領域(10科目いずれも選択)

ヘルスプロモーション論特論(保・養必)	島内 憲夫
成人・高齢者保健学特論	柴田 茂男
保健栄養学特論(保・養必)	細谷 憲政
精神保健学特論(保・養必)	熊倉 伸宏
環境保健学特論	桑原 祥浩
地域保健学特論(保必)	宮城 重二
国際保健学特論	西垣 克
保健社会学特論	川田智恵子
保健情報科学特論(保必)	武藤志真子
健康教育学特論(保・養必)	佐久間 充

II. 臨床検査学領域(6科目いずれも選択)

免疫学特論(保必)	林 修
(他の5科目省略)	

III. 養護教諭論領域(6科目いずれも選択)

学校保健学特論(保・養必)	大津 一義
性教育学特論(保・養必)	橋本 紀子
小児保健学特論(保・養必)	青木 菊麿
養護教諭論特論(養必)	鎌田 尚子
母子保健看護論特論(養必)	上田 礼子
救急看護論特論(養必)	鈴木美智子

IV. 共通領域(すべて20単位必修)

保健学総合講義(4単位)、保健学総合演習(2単位)、演習(2単位)、実験・演習(12単位)
・・・専任・指導教員

【試験科目】

*英語(75分)、*志望分野筆答(60分：養護教諭論)、*小論文(90分)
/第二日目；試問および面接

問い合わせTEL：0492(82)3601, 3609

学びや紹介 北から

北海道女子短期大学

東昇 北海道女子短期大学保健体育科

本学は、当時慢性的に不足の養護教諭について、道教委及び、小・中学長会から、強い養成の依頼を受けて、昭和45年既設の、保健体育科内に「養護教諭コース」として開設されたものである。当初から、志望者が多く、それに応えるべく、スタッフの熱心な指導と、真摯な学生の学習態度に、学校、病院等の学外の実習についても、絶大な協力体制を戴き、多くの卒業生を送り出すことが出来、現在に至っている処である。当初5年位は、ほぼ100%の教員採用率であったが、その後、教育大学に養成課程が設けられ、更に道内各学校への充足率も高まった事から、全体の採用数も、時代の趨勢で減少して来た。しかしこの様な厳しい状況にある中で、有り難い事に、毎年登録者数の約50%（25人前後）が、本学卒業生が占め、卒業後のアフターケアについても、スタッフ一同で検討が続けられ各種研究会等へも積極的参加を働きかけている処でもある。幸い道内各学校に加え、地域柄、東北地方各県に赴任した各教育現場からも大変よろこばれている声を聞く事が、何よりの救いであり、今後共「初心を忘れる事なく」指導に当たって行き度いものと考えている現状である。先輩各関係大学より、今後共、変わらぬご指導ご助言を切にお願い申し上げます。次第である。

↑↑↑↑↑

弘前大学での養護教諭養成教育

盛 昭子 弘前大学教育学部

弘前大学に養護教諭養成所が付置されたのは、昭和41年4月のことでした。養成所は3年制で、短大でもない曖昧な性格故に、学生や卒業生から様々な悩みが寄せられました。他大学でも同様であり、全国の養成所教員の組織(国養協)を中心に四年課程への取り組みがなされたのでした。それが爽り、教育学部への発展的移籍が実現したのは、本大学では、昭和54年4月のことでした。

養成所発足以来、約30年の歴史を重ね、卒業生は養成所と四年課程(14回生まで)を合わせ

990名、その約70%が養護教諭として全国各地で活躍しています。

現養成課程の入学定員は40名で、専任教員は7名です。平成7年度入学生から、共通教育科目、基礎ゼミ、教職科目、教科科目、卒業研究等からなる新カリキュラムが適用され、卒業所要単位は124単位(従来138単位)と減少し、学生の自発的研習を重視しています。また、平成6年度には、念願の大学院修士課程(保健体育専修、保健・養護系)が発足し、現職養護教諭を含む大学院生が学んでいます。各方面のご支援を得ながら、より充実した教育を目指して歩み続けています。

↑↑↑↑↑

南から

佐賀女子短期大学

生活学科 養護コース

一九 俊恵 佐賀女子短期大学

創立以来100年の歴史をもつ、学生数1200数人の短大です。

昭和41年に短期大学が発足、その中で養護コースとして養護教諭の養成が始まりました。

昭和55年頃には学生数70名で、採用試験の合格者が35名という時もあったと聞いています。その当時の本学の卒業生が県内には多く活躍しております。

教育内容は、現場に出てすぐ実践できる内容をと心がけています。つまり、養護教諭の職務の講義と、その実習に最大の重点を置いています。また、養護教諭に期待されているヘルスカウンセラーとしての役割を果たすために、精神保健や教育相談も力を入れている科目です。こうした教室での学習を踏まえて佐賀医科大学での解剖見学、日本赤十字社の救急法の実技講習、病院実習など現場に直結した実習を行っています。もちろん、教育の現場(小・中学校等)での養護実習を頂点に位置づけています。

養護教諭になりたいという学生に囲まれ、私自身の教育に対する姿勢が、学生の志向意欲につながるよう日々の努力を続けています。

♪♪♪♪

新しい研究テーマを募集します

「養護実習」研究班が本年4月から発足し、活動中です(別項参照)。当研究会の事業をさらに充実させるため、次年度の研究テーマを募集します。次の要領で応募してください。

- ★記載事項：①テーマと設定理由
②氏名、所属、連絡先

★締切：1995年10月13日(金)消印有効

★送り先：事務局(FAX 可)

なお、締切後の手順は昨年同様次のように予定しています。

- (1) 応募テーマについて世話人会で検討し、研究テーマの案を総会に提案する。
- (2) 総会で決定されたテーマの研究参加者を募る(「ハーモニー」紙上で)。
- (3) 研究班発足(1996年4月)

(堀内 久美子)

十 事務局から

☆会員名簿の訂正をお願いします。

- (1) 入会および退会(1995.8.25 現在)

①入会

会員番号180 村瀬久美(愛知県立加茂丘高等学校)

連絡先(自) 〒444-24 愛知県東加茂郡足助町大字菅生字菅生24-1
(0565)76-2241

会員番号181 外山恵子(愛知県立豊明高等学校)

連絡先(勤) 〒470-11 豊明市沓掛町海老池10 愛知県立豊明高校
(0562)93-1166 内線25

会員番号182 野崎とも子(千葉大学教育学部)

連絡先(勤) 〒263 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学教育学部
(043)290-2634

会員番号183 藤田大輔(神戸大学発達科学部)

連絡先(勤) 〒657 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部
(078)803-0911

会員番号184 妻鳥和恵(筑波大学大学院)

連絡先(自) 〒305 つくば市桜2-26 メゾン・クレールC棟 205号
(0298)57-8875

会員番号185 磯辺啓二郎(千葉大学教育学部)

連絡先(勤) 〒263 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学教育学部
(043)290-2629

会員番号186 西田マリ(千葉大学卒)

連絡先(自) 〒669-53 兵庫県城崎郡日高町野々庄912-1
(0796)42-0702

会員番号187 吉田千夏(愛国学園)

連絡先(自) 〒116 東京都荒川区町屋4-5-3
(03)3800-9730

②退会

名簿p.3(会員番号143)小川直美(香川県立善通寺第一高校)1994年度限り
(1994年度まで香川県立香川中央高校)

(2)住所変更

会員番号175 中島宏美(日本大学習志野高等学校)1995年度入会

連絡先(自) 〒276 船橋市薬円台2-3-2 薬園台ガーデンヒルズ405
(0474)64-6645

(3)勤務先変更

名簿p.2(会員番号7)浦中淳(前茨城大学教育学部)

連絡先(自) 〒276 水戸市城南2-9-11

名簿p.6(会員番号141)中島玲子(愛教大院)

連絡先(自) 変更なし

名簿p.8(会員番号90)森千鶴(名古屋市長西前田小学校)

連絡先(自) 変更なし

☆会員数は181名です(1995.9.20 現在)

☆会員名簿の改訂版を11月に発行します。勤務先・連絡先等に変更のある方は10月上旬までに事務局へ御連絡ください。

(堀内 久美子)

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

編集後記

「ハーモニー」第9号の発行が学期の変わりめのため、『学びや紹介』は3校にとどめ今回載せられなかった学校については、次号に掲載させていただきます。

(曾根睦子, 中川優子)